

酪農宮崎

令和8年 2月28日 印刷
令和8年 3月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.652
2026年3月



フードバンクみやざきへの牛乳贈呈

3月号目次

情勢報告	1
宮崎県酪連30年史	2
自給飼料の作期分散について	3~4
消費拡大実績	5~6(上)
ランチミーティング	6(下)
宮崎県酪農青年女性酪農発表審査会	7
農大通信Vol.17	8

ナンノ教授のヒトリゴト	9
全酪広告	10
全農広告	裏表紙



MILK UP!
プロジェクト



JAみやざきHP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和8年2月16日現在

指定団体	1月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	336,778	99.1	3,341,119	101.3
東北	37,041	95.3	373,357	99.4
関東	86,476	99.4	843,055	100.2
北陸	5,144	93.3	51,817	97.4
東海	24,436	99.8	235,415	99.5
近畿	11,269	96.3	111,147	98.3
中国	24,308	99.1	235,708	99.4
四国	8,753	102.0	83,008	100.5
九州	45,903	100.2	439,635	99.1
(内、宮崎)	5,544	97.4	54,354	98.4
都府県	243,330	98.7	2,373,141	99.6
合計	580,108	98.9	5,714,261	100.6

2. 販売状況

令和8年2月16日現在

用途	区分	1月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	235,394	99.0	2,427,845	98.7
	九州	30,124	99.4	306,115	98.9
はっ酵乳等	全国	33,422	100.9	348,399	98.3
	九州	6,746	103.3	71,018	98.3
特定乳製品	全国	168,012	97.7	1,503,425	104.7
	九州	6,833	100.6	39,902	101.6
生クリーム	全国	106,092	99.3	1,074,717	99.6
	九州	2,107	100.2	21,728	100.3
チーズ	全国	37,188	101.7	359,876	102.3
	九州	92	97.8	872	93.4
合計	全国	580,108	98.9	5,714,262	100.6
	九州	45,902	100.2	439,635	99.1

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 1月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	5戸
80 t 以上 ~ 100 t 未満	1戸
60 t 以上 ~ 80 t 未満	10戸
40 t 以上 ~ 60 t 未満	26戸
20 t 以上 ~ 40 t 未満	62戸
10 t 以上 ~ 20 t 未満	39戸
10 t 未満	13戸
合計	156戸
最高出荷量	454t/月
平均出荷量	36t/月

4. トピックス

令和8年度の生乳及び牛乳乳製品の需給見通し

やわらかな春の日差しがうれしい季節となり、皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。旧経済連を含む連合会が「JAみやざき」に包括承継され、1年が経過いたしました。翌年度は、ステージ2の最終年度であり、ステージ3(令和9年7月~)に向け、JAみやざき酪農事業の体制整備についてスピード感をもって進めてまいります。また、県内の酪農生産基盤強化への取り組みにつきまして、①生乳生産基盤の維持、②生乳生産性向上対策、③牛乳乳製品消費拡大・酪農理解醸成活動も引き続き、取り組んでまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

先月8日に投開票となりました第51回衆議院選挙が展開され、宮崎県農民連盟及び日本酪農政治連盟推薦の1~3区の自民党候補者が当選を果たし、国政へ送り出すことができました。また、全国的には自民党議席数が過半数に達し、与党の追い風となる結果となりましたので、これからも酪政活動を通じて、地元の自民党議員(自民党酪政会)を中心に要請活動を継続的に行うことにより、酪農業界への適切な対策・支援を講じていくことにより、全体的な酪農振興につながっていくことと期待いたします。この度の選挙に際し、酪農家の皆様、関係各位の皆様のご理解とご協力に厚く感謝申し上げます。

先日Jミルクにより、令和8年度の生乳及び牛乳乳製品の需給見通しが公表されました。生乳生産量は、北海道が微減産(前年比99.3%)、都府県が減産(同比96.7%)で全国では、3年振りの減産(同比98.2%)の見通しとなっています。牛乳乳製品の需給見通しでは、価格改定による家庭向けの水準が低調であり、牛乳乳製品の需要も低調に推移(飲用等向け同比99.0%)する見通しであり、脱脂粉乳・バターの製造量は前年を下回る(同比96.0%)見通しとなっております。脱脂粉乳の期末在庫は11万t(同比132.8%)の見通しで、コロナ禍以来の深刻な水準となります。生乳の需給緩和傾向は続き、加工品等の需給不均衡の構造的な課題解決が急務となり、夏季の飲用需要期の良質生乳の安定供給が重要となり、生産現場では、適切な猛暑対策等を講じることが必要となります。

令和7年度も残すところ、わずかとなりました。皆様から積み上げられた本年度の最終見込み数量が66,125tとなりました。これは、当初目標数量(69,771t)の94.8%となり、酪農家皆様の生乳生産に対するご理解によるものと考えております。乳質事故による生乳廃棄等が無いように日頃から注意していただいていると思いますが、油断することなく、日々の良質生乳生産に取り組んでいただきますよう、よろしくごお願いいたします。

—唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である—

酪農課 加藤 喜博

宮崎県酪連30年史

平成7年9月発刊

1) 明治酪農の草分け

慶応3年(1867年)、将軍徳川慶喜の大政奉還によって徳川300年の幕府政治は終焉した。明けて明治維新の時代となり、明治2年宮崎県内の大名である高鍋、延岡、佐土原、飢肥の藩主も藩籍を奉還し、参事に任命された。しかし世の中は長い封建政治の崩壊から混沌としていた。

宮崎県で最初に酪農を始めた人は、土田退蔵である。彼は延岡藩士であったが、明治6年日向国が宮崎県として出発した時、県職員となったが、県を辞めた後、明治7年内務省より短角種数頭の貸付を受け、宮崎市別府町で搾乳業を始めた。当時の宮崎市は数千人の一集村にすぎず、土田は朝夕2回搾乳し、ブリキ製の容器に入れてはかり売りで、各戸を廻ったが、1日の売上は僅か3~4升(5~7.4kg)にすぎなかった。当時、牛乳は薬餌として特別の場合しか飲まなかったため搾乳業だけでは成り立たず、加えて明治10年西南の役により、日薩の地は戦火におおわれ事業を廃止した。

明治9年、都城藩士の北諸郡宮丸村の隅元棟貫と愛甲伸雄が、短角種1頭を勸業局より借り受け、西岳村荒襲に牧場を設け、明治9~15年に洋牛生産27頭、明治16年7月には妊娠牛21頭の実績が記録にある。当時は明治維新の功績から薩摩が中央で勢力を占めていた時期で、大久保利通、岩崎敬義が中心になって洋種の牛馬やめん羊を盛んに輸入し、これを増殖するため下総種畜場(後の下総御料牧場)、畜産試験研究のため内藤新宿試験場を設置した時代で、洋種の借り受けにも好都合だったと思われる。

愛甲は都城市下長飯の出身で、正式に搾乳業を始めたのは明治13年である。西南の役には都城隊として従軍したが、敗戦により国事犯として懲役刑に処せられ、山形監獄に収容された。服役中に搾乳の知識を得、明治11年出獄するとともに、郷土に帰り搾乳業を始めた。

明治の搾乳業は手探りの酪農で、士族が廃藩置県で失業し授産事業として始めた者も多く、経験不足で失敗した事例が多く、いずれも長続きはしなかった。そんな中で愛甲は、終始搾乳業を続け、また息子も搾乳業を引き継ぎ、昭和の時代まで続けた酪農の先駆者であった。大正5年畜産功労者として国から表彰され、銀杯1組を下賜された。

宮崎市の酪農の先駆者としては川野興市を挙げなくてはならない。川野は現在の宮崎市吉村町の出身で明治16年、30歳の若さで搾乳業を始めた。その後、アメリカ人からエアシャー種2頭を譲り受け、3年後の明治19年には14頭に増頭し、広瀬村に第2牧場も造っている。彼は、経営管理や繁殖技術にも優れ多くの子牛を繁殖し、その後県内各地の搾乳業者にも譲渡した。

明治30年から大淀村で搾乳業を始めた北岡藤三郎も、当初は川野牧場に勤めた後、開業し、明治から大正、昭和の中期頃まで、息子に引き継ぎ常時15~20頭の搾乳業を経営した。この外に、宮崎町における奥村直道の明治30年に23頭が目につく以外は、2~5頭規模の少頭数経営である。

自給飼料の作期分散について

畜産試験場酪農飼料部 副部長 黒木邦彦

飼料コスト抑制のために、飼料自給率を高めることが重要ですが、様々なリスクにより収穫が不安定な場面が見られます。

1. 近年の粗飼料確保の不安定化の要因

- ・ 春の長雨
 - 1) 冬作牧草の収穫遅れ、栄養低下
 - 2) トウモロコシ作付けの遅れ、生育不良
- ・ 害虫による食害

飼料用トウモロコシのツマジロクサヨトウからの食害による収量低下
- ・ 秋の高温

冬作牧草の生育不良、雑草の繁茂 など



2. 飼料作物の作期を分散させてリスクも分散

- ・ 粗飼料収穫の機会を増やす

収穫時期を分けることで、天候不順などのリスクによる極端な不作を避け、平均的な収量確保を目指す。
- ・ 害虫の発生時期を見越した作付け

害虫による食害が増える前に栽培、収穫を完了させる。
- ・ 効率的なほ場の活用

飼料作物の組み合わせにより、無駄なく年間を通してほ場を活用。

3. 草種や品種、栽培時期の組み合わせでリスク回避【対策】

・粗飼料収穫の機会を増やす

畜産試験場では極早生イタリアンライグラスを飼料生産に組み入れています。

- 1) 収穫機会の増加
(冬期1回、春期1回)
- 2) 天候が安定した冬期に収穫することで高品質牧草を確保
- 3) 作期の分散による年間を通した牧草栽培作業の平準化などのメリットを確認しています。



極早生イタリアンの1番草収穫
(2022年1月7日収穫)

・害虫被害を受ける前に収量確保

ツマジロクサヨトウは、春先に温暖な海外から飛来し、夏以降被害が拡大します。

特に発芽直後に食害を受けると被害が大きくなります。

春播きトウモロコシで、食害を受ける前に収穫することでリスクを軽減できます。



昨年は5月23日に初確認 (2025年5月23日撮影)

・気候や時期に合った品種選定

右表のような、草種や栽培時期を組み合わせることで、

栽培、収穫時期分散

→リスク分散

→作業の平準化

が見込まれます。

ほ場を2~3年のスパンで活用することも検討しましょう。

「宮崎県 飼料作物栽培・収穫のてびき」から抜粋

作物名	播系	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
トウモロコシ	早播き			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔
	早播き後 二作												
	遅播き												
ソルガム	早播き			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔
	遅播き												
雑穀型 牧草	ローズクラス			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔
	ギニアグラス			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔
	パヒアグラス 一年生			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔
	二年生												
イタリアン ライグラス	極早生種			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔
	早生種			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔
	晩生種			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔
エンバク	晩播き (春内刈)			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔
	晩播き (夏刈)			蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔	蒔

飼料確保の安定化で経営安定を目指しましょう！

(お問い合わせ：畜産試験場酪農飼料部 0984-42-4837)

令和7年度牛乳消費拡大の取り組み

JAみやざき 酪農課 黒木 久美子

令和7年度は、ミルクフェアやInstagramキャンペーン、各地域での搾乳体験やバター・アイスクリーム作り体験、県産牛乳の特別販売等を行いました。

加えてInstagramでの投稿キャンペーンや各地域で開催された多くの消費拡大イベントを通じて、より多くの方に牛乳の消費拡大を呼びかけることができたのではないかと感じています。

来年度も、体験や販売、SNS等を活用して、楽しく効果的な消費拡大運動に取り組んでいきます。



宮崎県酪農青年女性連絡協議会
父の日に牛乳を贈ろう!県知事贈呈

【Instagram写真投稿キャンペーン】



9/1 ~ 9/30に
「#牛乳とハイチーズ」



12/20 ~ 1/19に
「#ミルクごくごく極上グルメ」

本組合の活動

広告	新聞	農業新聞	新年広告掲載 「毎月1日は牛乳の日」	父の日に牛乳を贈ろう!	父の日に牛乳(ちち)を贈ろうキャンペーン(県知事贈呈)
	TV		「毎月1日は牛乳の日」 「みやざきMILKUP!」テレビCM	イベント	みやざきミルクフェア2025
	広報誌 「Mモーション」		「6月1日は世界牛乳の日」 「6月は牛乳月間」広報誌への広告掲載		
購買運動			職場で1日1本牛乳を飲もう運動	キャンペーン	サンA ミルクティー他 特別価格販売キャンペーン
			LL牛乳・バター利用拡大推進運動		Instagram写真投稿キャンペーン
PR	A Z Mレストラン		宮崎県産牛乳の消費PR		第1弾 #牛乳とハイチーズ
	JAビル		みやざきMILKUP!のぼり掲示推進		第2弾 #ミルクごくごく極上グルメ

.....みやざきミルクフェア2025.....

6月14日・15日イオンモール宮崎にてみやざきミルクフェア2025を開催しました!!
搾乳体験、バター作り体験以外にも「酪農家トークショー」ミルクスイーツ・チーズ販売など内容盛りだくさんでした。



……MIYAZAKI Delicious Market」2025出店……

12月13日14日



宮崎県産牛乳特別価格販売



宮崎県酪農協議会役員による理解醸成活動も両日行われました。



～第12回 酪農女性部ランチミーティング～

主催 宮崎県酪農青年女性連絡協議会 JAみやざき 酪農課

令和8年2月4日(水)に宮崎市のフェニクス・シーガイア・リゾートにて、第12回酪農女性部ランチミーティングが開催されました。このランチミーティングは、日頃から仕事・家事・育児に忙しい女性の方を対象に、慌ただしい生活から少しの時間離れていただき、リフレッシュしていただくことを目的に、毎年開催させていただいています。

今年は関係者を含め54名の方に参加いただき、普段お会いすることのない他の地域の女性部の方とも、交流を深めていただけたのではないかと思います。

ランチミーティング前の講演では、アロマ獣医師の吉永まり様に、「女性のためのアロマケア」というテーマで、ご自身の活動もふまえながらお話していただきました。講演の中では、「アロマはリラクゼーション用途だけでなく、家庭内での健康管理やストレス軽減、睡眠の質向上などにも役立つ」ことをご紹介いただき、実生活にも取り入れやすい内容であったため、参加者の皆さんも熱心に耳を傾けていました。後半は目的別のアロマクリーム作り体験を行い、実際に香りを選んで自分用のクリームを作る時間は大変好評でした。

食事はビュッフェ形式で、皆さん好きな料理を選ばれ、周りの方とお話しながら、楽しい時間を過ごしていただきました。来年度以降も、女性部の方が楽しんでいただけるような企画を考えて開催していければと思います。



宮崎県酪農青年女性酪農発表審査会

JAみやざき 酪農課

令和8年1月27日(火)JAみやざき都城地区本部 大会議室(都城市)にて、酪農家・関係機関24名が参加し、宮崎県酪農青年女性酪農発表審査会を開催しました。酪農経営発表の部で、都城地域代表の福留寛行さん(都城地区酪農青壮年部連絡協議会)が「リフレッシュしながら黒字経営を目指す」というテーマで発表されました。

酪農経営発表の部 「リフレッシュしながら黒字経営を目指す」

我が家は、祖父の代から酪農を初めて私で3代目になります。幼い頃から牛舎に遊びに行く中で、自然と将来は酪農の仕事をするんだと思っており、農業高校、宮崎県立農業大学校を経て21歳で就農しました。就農後は都城地域酪農ヘルパー組合で4年間勤務し、他農家での経験を通して多様な作業や経営の考え方を学びました。この経験は現在の経営に大きく役立っています。平成27年には法人化を行い、現在の経営になっています。

経営で最も力を入れているのは繁殖管理です。「空胎日数をいかに短くするか、繁殖性をいかに高めるか、で酪農経営が決まる」という気持ちで取り組んでいます。分娩後2か月経過で問題があれば獣医往診、妊娠鑑定は授精後28日で実施しています。授精や受精卵移植を自ら行うことで牛体の体調管理と異変の早期確認ができ、受胎率向上につながっています。和牛受精卵移植にも積極的に取り組み、副産物収入として経営を支えています。OPU-IVFにも取り組み、能力の高い母牛由来の受精卵を短期間で生産できるようになりました。新鮮卵で移植することで受胎率が向上し、年間を通して安定した繁殖成績を残しています。特に夏場でも受胎できる点は受精卵移植の大きなメリットだと考えています。

都城市は盆地で高温多湿になるため、暑熱対策にも力を入れています。扇風機の増設、細霧システム、屋根スプリンクラーなど複数の方法を組み合わせることで環境改善を行い、生産性向上を図っています。乳量データを活用した個体別給餌管理、自動給餌機による1日6回の給与、飼料分析に基づくTMR設計により、搾乳牛のコンディションを落とさず年間を通して乳量と乳質を安定させています。

自給飼料生産では、平均2.5作の作付をおこなうことで、限られた圃場を有効活用しています。粗飼料と土壌の分析を行い、変化に対応できる圃場管理を実践しています。さらにニンジン農家との耕畜連携により肥料コスト削減と収量増加を実現し、規格外ニンジンを飼料として活用することで飼料費削減と繁殖成績向上にもつなげています。

平成27年の法人化をきっかけに働き方も見直しました。作業前のミーティングで役割を明確にし、機械化による効率化で労働時間を短縮しています。その結果、後継者の就農にもつながり、家族が無理なく続けられる体制になりました。休日には旅行や趣味でリフレッシュすることで酪農へのモチベーションを維持できています。

就農当時370トンだった年間出荷乳量は現在約670トンまで増加しました。今年度は700トンを達成できそうです。今後は自家育成によるコスト削減と、余剰飼料を活かした規模拡大を目標としています。

酪農経営では粗飼料生産から繁殖、牛群管理、働き方まで多岐にわたる改善が求められます。今後も持続可能な酪農を目指し、家族が健康に酪農を続けられることを第一に考えながら、地域に根ざした酪農を進めていきたいです。



農大通信 vol.17 ~生きる力を育てます~

農業高校や農業大学校に関わりのある方にとって、なじみ深いものといえば「プロジェクト学習」ではないでしょうか。プロジェクト学習とは問題解決学習もしくは課題解決型学習を指すものであり、1990年代初めにアメリカの教育学者であるジョン・デューイ氏が提唱した学習理論で、自ら問題を発見し解決していく能力を身につけていくことを目的とした学習法です(フリー百科事典『ウィキペディア』より)。



放牧試験の実証中！
夏場の試験のため、日避けも作りました。

このプロジェクト学習で肝要となるポイントは、「自ら」というところです。社会の荒波にもまれている皆様にはご理解のことと存じますが、社会に出ると問題は準備されているものではなく、現状から導き出すものです。そして、その解決方法も誰かが教えてくれるものではなく、自らが調べて試してみ、効果があるかどうかを検証しながら解決方法を導いていくことが求められます。つまり、プロジェクト学習とは①今、農場で何が問題になっているのか、②その問題を解決するにはどうすればよいか、③解決方法にはどのような効果があるのか、④解決方法を農場でどう生かしていくのか、といったことを自ら考え、調べ、検証していく過程を実践的に取り組ませるものであり、まさに社会に出てから否応なく求められる能力を育てる学習なのです。

本校では、卒業までの2年間でこのプロジェクト学習に取り組むことになっています。学生たちは、

乳量や繁殖成績などの経営における問題点の把握にはじまり、既存の研究報告や現場の知恵などから解決のヒントを導き、試験計画の設計、更には実証及び結果の考察まで求められますので、探求力がかなり鍛えられることになります。



プロジェクト学習では発表スキルも試されます！

また、プロジェクト学習は調査するだけでは終わりません。調査した内容をまとめ、発表するところまで求められます。成果を分かりやすく丁寧に人に伝える、これが社会に出ても生かされることは言うまでもありません。当然ながら、これらの能力を育てることは容易なことではありませんので、我々教員も日々、誠心誠意、力と心を込めて指導にあたっています。



本校代表の記念撮影@九州大会

このように本校ではプロジェクト学習をはじめ、様々な教育手法を生かし、強い農業者を育てる教育を行っています。後継者の進路に是非、農業大学校をご検討ください。

農学部 ナンノ教授のひとりごと

大学における教育とは

南野 快

大学教員にとって自分の研究成果を論文として世の中に公表することは重要な責務である。中には自身の研究テーマを持つことなく、教育だけが与えられた任務という大学教員もいる。複数の大学を掛け持ちして担当科目を教える非常勤講師や、第一線を退いたシニア教員などがそうだ。但し、フルタイムの大学教員にとっては研究者であることがアイデンティティと言っても過言ではない。未解明の真理を探究する姿勢とそのプロセスを伝えるのが大学教育の柱であり、教科書に書いてあることを読むだけ、あるいはその中で重要な箇所には線を引かせるだけならAIを使えば事足りる。受験勉強と大学での学びは異質のものだ。

ただ、卒業時に国家試験を控える学科のカリキュラムは、どうしても国家試験を意識せざるを得ない。これは獣医学に限らず医歯学や薬学など、卒業が国家試験の受験資格である他の学部・学科でも同じである。普通にカリキュラムを修了すれば国家試験に合格するのが当たり前というのが理想だが、問われる知識量が多くなっていて、全てを網羅するために詰め込み教育になりがちなのが現状だ。

全国の獣医学教育関係者で構成される機構は国家試験に出題される18科目においてモデル・コア・カリキュラムを設定し、各大学では全課程の7割をこれに充てることとされている。結果として、各教員の自由裁量による講義内容は少なくなる。学生にとっても獣医師になることが当面の目標の一つなので、授業中に「これは国家試験で良く出るよ。」という、熱心にメモを取る。教員(大学)側も国家試験の合格率が低くなることで大学の評判が落ちることを心配する。こうして、学生と大学双方の利害が一致することから、学生の求めがあれば国家試験対策授業をすることになる。しかしこれでは受験予備校と変わらず、「なんだかなあ」、とため息が出る。どこまでも寄り添うのも教育なのかもしれないが、敢えて少し突き放して自分で考えさせるのも教育ではないかと。

文科省は大学教育を『学術の中心として「真理の探求」「高度な専門能力の育成」「豊かな人間性の涵養」を通じて、社会に変革をもたらす人材を輩出する知の基盤』と位置付けている。経団連は大学が教育に果たす役割を「幅広い知識や技能、専門能力の学修を通じて探究力や社会課題の解決能力を涵養することで、新たな時代を牽引する人材や社会の中核で活躍する人材を育成・輩出すること」と定義している。これはもっともなのだが、いかんせん、国家試験科目の分量が多すぎてカリキュラムに余裕がない。自分が話したいことはもっと他にもあるが、その時間が十分でない。そんなジレンマを抱えながら大学教員をしてきたが、「いのちって何?」、「これまで病気の症状と信じられてきた現象が実は生き残り戦略だった」、といったような研究の面白さを授業の中でも折に触れて学生に伝えたいし、その情熱はこれからも失わずにいたい。

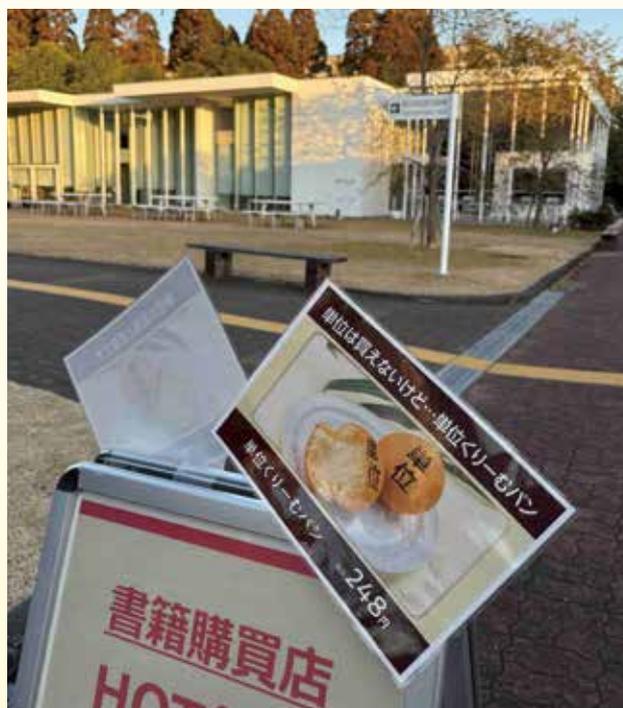


写真 大学生にとって単位を取得することは卒業するために最低限必要なことである。そのためには真面目に勉強するしかない。1単位が248円で買えるなら安くて楽だが、食べるだけで取得できる単位はない。しかし腹が減っては戦ができない。まずは栄養を摂ろう!

全酪連初生牛預託事業のご案内

- ・「仕事が多すぎて、子牛の面倒を十分に見てあげられないんだよなあ..」
- ・「子牛の病気や治療が多くて困っているんだよなあ..」

こんな悩みをお持ちの酪農家の皆さん、全酪連の初生牛預託事業を利用してみませんか？



全酪連若齢預託熊本牧場（菊池市泗水町）

～牧場風景～



【預託事業に関するお問い合わせは】
 全酪連 福岡支所 畜産課 まで
 092-431-3447
 お気軽にご相談ください。

【全酪連初生牛預託事業とは？】

皆様の乳用種初生牛(雌牛)を概ね生後4日齢～1カ月齢でお預かりし、
全酪連若齢預託熊本牧場にて6～8カ月齢まで哺乳・育成いたします。

※対象牛は、健康な乳用種初生牛(雌牛)です。

(肺炎、下痢等の疾病等のある子牛はお預かりできません。)

※哺育期間は、全酪連「強化」哺育・育成体系で管理いたします。



代用乳製品

生まれた子牛は強化哺育®にお任せください!!

ホルスタイン雌子牛 強化哺育®用



全酪連は2005年1月に搾乳後産乳牛のための「強化哺育®・育成体系」を発表、強化哺育®用代用乳「カー トップ EX」を供給してまいりました。以来、全国各地でご利用いただき、子牛の発育と健康面における大幅な改善、初産分娩の月齢短縮や体格向上、初産乳量増加などの好結果に絶大なご支持を賜ってまいりました。全酪連・酪農技術研究所では、自家産の雌牛を対象に、哺育体系の違い（「標準体系」vs「強化哺育®」）を比較するための飼養試験を1998年より継続してまいりました。これまでの5年間のデータを哺育期・育成期・初産乳期について集積・比較した結果を要約すると、初産分娩月齢は22.3ヶ月でほぼ同一、初産分娩後体重は強化哺育®区が596.2kgで+23.7kg、初産乳期乳量は強化哺育®が9,682kgで標準より+822kgという結果でした。

和牛・F1子牛 強化哺育®代用乳



強化哺育®の効果と和牛子牛やF1子牛に応用するために「カー トップ EX ブラック」を開発、2007年夏より供給開始し、全国の肉用系牛の体格を大幅に改善して注目されております。肉用系牛においても、強化哺育®によって、過肥にならず、フレームサイズが大きく、飼料摂取に優れた育成管理が重要であり、全国で自動哺乳機による和牛・F1子牛強化哺育®事例が普及しつつあります。「カー トップ EX ブラック」は、ホルスタインよりも生時体重の小さい和牛やF1子牛のエネルギー充足を満たすためにエネルギー濃度を上げ、更に粉末初乳を加えて便スコアの改善を考慮しています。



全酪連の購買製品カタログ(全国版)はこちら

代用乳・配合飼料・添加物・酪農・畜産機材類 掲載

地域によって、取扱がない製品もございます。
詳しくは各支所へお問い合わせください。

福岡支所

TEL 092-431-8113

FAX 092-431-8355

南九州事務所

TEL 0986-62-0006

FAX 0986-62-0193

くみあい配合飼料 乳配

くみあい配合飼料

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ



➤ デイリーアップ74

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- ベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現

